学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	工芸実習Ⅱ	単位数	４単位	年次	４年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ガラス加工の知識と技術を習得し、これまでに学んだ基礎技術を活かしながら造形的な創造活動の応用的な知識と技術を培います。
使用する材料についての理解や的確な加工技術と表現力の習熟や直感力と立体感覚を身につけ、計画的及び発展的なアイデアを開発していく力を育成します。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・立体造形を学ぶなかでガラス加工、接合に関する要用的な知識と技術を習得するとともに立体造形の構成で材料が適正か、十分な強度を有するか、安全性が確保されているかを総合的に判断できる能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
・立体造形の構成過程でガラス加工の技術やデザインの課題をみつけ、課題を解決するための思考・判断を行う態度を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
・ガラス材料や立体造形に関心をもち、ガラスの加工技術を積極的に行う態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ガラス加工に興味を持ち、産業と社会とのかかわりについて意欲的に取り組み、実践的で真剣な態度を身につけている ガラス加工に関する応用的な知識と技術を身につけ、現代社会における工芸の役割を理解している。	ガラス加工に関する諸問題の適切な課題解決をめざし、応用的な知識と技術を活用して判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	ガラス加工に関する要用的な技術を身につけ、技術者としての責任ある取り組み、また実際の課題を適切に処理する技能と創造的・実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ガラス工芸(ステンドグラス立体の基礎)	・ガラス材料の特性と工具の取り扱い ・安全作業に関する知識 ・立体構成に関する知識 ・照明器具の制作 ・背作物についての考察	a:ガラス材料の特性と工具の取り扱いについて理解できているか。制作物について、問題点・改善点を考えることができる。 b:材料の特性により最適な工具を選定し、加工できているか。 c:立体的な作品の寸法を把握し、デザイン通りの作品に仕上がっているか。	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・振り返りシート ・アイデアスケッチ ・制作物
二学期		・ガラス材料の特性と工具の取り扱い ・安全作業に関する知識 ・立体構成に関する知識 ・照明器具・置物の制作 ・背作物についての考察	a:ガラス材料の特性と工具の取り扱いについて理解できているか。制作物について、問題点・改善点を考えることができる。 b:材料の特性により最適な工具を選定し、加工できているか。 c:立体的な作品の寸法を把握し、デザイン通りの作品に仕上がっているか。	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・振り返りシート ・アイデアスケッチ ・制作物
三学期		・ガラス材料の特性と工具の取り扱い ・安全作業に関する知識 ・電気配線に関する知識 ・作品の仕上げ ・背作物についての考察・プレゼンテーション	a:ガラス材料の特性と工具の取り扱いについて理解できているか。制作物について、問題点・改善点を考えることができる。 b:材料の特性により最適な工具を選定し、加工できているか。 c:立体的な作品の寸法を把握し、デザイン通りの作品に仕上がっているか。	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作物	・授業態度 ・振り返りシート ・アイデアスケッチ ・制作物

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度